

リューネブルク ロイファーナ大学（ドイツ） 留学報告

- 派遣大学：リューネブルク ロイファーナ大学（ドイツ・リューネブルク）
- 留学期間：2013年8月 ～ 2014年3月 （8か月）
- 在籍区分：学校教育学部 図画工作科教育コース
- 私の体験談

ドイツへ行くまで、鳴門教育大学でドイツ語の授業を取りつつ、ドイツ語検定の取得のための勉強も同時にしました。英語があまり得意ではなく、留学先の資料やメールを読むのさえやっとなので、留学先のロイファーナ大学では始めの一ヶ月、ISU (International Summer University) という留学生のための短期ドイツ語講習の初心者コースに参加しました。授業中、先生が話すのは全てドイツ語。全くわかってないときには英語を使って助けてくれましたが教科書もドイツ語、文法用語もドイツ語なので、初めのうちは本当に大変でした。宿題も毎日たくさん出されたので家に帰ってもドイツ語の勉強をばかりしていました。楽しかったのはISUでの日帰りの旅行や、ピクニック、映画鑑賞、パブでの飲み会など、大学が企画してくれたことです。私もよく参加して、不安だった友だち作りは思っていたより簡単にできました。ISUのメンバーは様々な国から来ていて、ヨーロッパ、アジア、アメリカ、南アメリカなど、色々な人と関わることができました。このISUだけの短期語学留学を目的に来ている人もたくさんいました。

10月から前期が始まりました。最初の一週間は『スタートウィーク』といい、色々な科の新入学生を10人ほどのグループに分け、話し合いながら協力し、課題に取り組みせるオリエンテーションの様なものでした。わたしのチームは、ドイツ人の1年生5人、留学生（チリ・ブラジル・日本・ハンガリー）4人が混ざったチームだったので、基本的に英語で話し合われました。今年の課題は「持続可能な町」がテーマで、どのような町作りにすればよいかを具体的に考え、最終的に動画として発表するといったものでした。

行く前から、ドイツは環境意識が高い国で、日本の原発事故を受けドイツ国内での原子力発電を0にしようとしている事などは知っていましたが、ロイファーナ大学は環境に対する学生個人の意識が高く驚きました。しかし、はじめは大学から提示された課題の意味がわからず、みんなが討論をしているのに、聞き取ることもできず、無力感でくじけそうになりましたが、あきらめず耐えているうちに、自分にできる意思疎通のツールを見つけました。それは「絵で描くこと」でした。絵でアイデアを紹介したり、みんなのアイデアを絵に起こしたりすることで、意思疎通ができ、後半はみんなの一員として考えを絵に描き、その絵を動かしながら、エコロジーな町の様子を動画で発表することができました。この経験は、その後の私の留学生活への自信と、視覚で伝えることは言葉の壁を越える言うことを再確認することになりました。

大学の講義は美術の授業を5つとドイツ語の授業を履修しました。ドイツ語の授業は週二回ありここでも宿題が出されました。3ヶ月目以降は授業内容もだいたい聞き取れるようになりました。美術の授業では実技が多そうなものをできるだけ履修したのですが、作家や自分の作品についてプレゼンテーションをする事が多くドイツ語で文章を作ることに苦労しました。しかし、そのおかげでドイツ語の授業で習った事を実践に生かすこともできたので、いい経験だったと思います。授業で実際に美術館に行って作品を見ることもあり、日本にいただけでは得られなかった体験ができました。自分の留学後の研究について具体的に考えられました。

住居は、WGに住んでいました。WGとは1つのアパートを数人でシェアするもの。私のいたW

Gではドイツ人の男2人、女2人と一緒に生活していました。みんな気さくでわからないときは英語を使って教えてくれたりしました。トイレとお風呂とキッチン共同なので掃除の当番を決めて協力して生活していました。たまにWGのメンバーと一緒に料理したり、食後お酒を飲みながらボードゲームしたり楽しいWG生活でした。

休みの時はドイツ国内を旅行したり、ロンドン、パリ、スペイン、ギリシャ、オランダにも行きました。移動には高速バスや格安航空をよく使っていました。各地で興味のある舞台や建築物、博物館、美術館や市場など、たくさんの場所を歩き回りました。国によってそれぞれの雰囲気があり、一度の留学で色々な文化を体験できることは、ヨーロッパ圏での留学の魅力の一つだと思います。

○ある一日のスケジュール

7:30	起床
8:15~9:45	ドイツ語の授業（ドイツ語）
10:00~	食事
12:15~13:45	コミック&風刺画（美術教育の中のクラス） （ドイツ語）
14:00~	課題や予習など
20:00	夕食
23:00	就寝

○留学にかかった費用

渡航費（往復） 184,910円

生活費（1か月あたり）計 約8~10万（単位：円）（為替：1€=約140円（H24.2現在））

宿舎費・光熱費（家賃） €308-（¥43,120-）

食費 約€150-（¥21,000-）

教材費 €76-（¥10,640-）

（ドイツ語コースの教科書とワークを全部で4冊買いました。合計76€=14+16+26+20）

その他 旅行費、交際費、服代

健康保険 €264-（¥36,960-）（ドイツで加入）

¥100,970- AIU（日本で加入）

学期チケット代（学生証のようなもの）

€210-

夏休みの言語コース €495-

○先輩の声！

【留学前に関すること】

留学の動機・目的は？

ヨーロッパで本物の芸術作品を見たかったからです。また、海外での生活を体験し、国際感覚、言語力を身につけたかったからです。

いつ頃留学を決意しましたか？

中学生の時と、高校生の時にも留学するか迷っていたのですが、決断できずにいました。留学する1年前の春休みにトルコへ旅行し海外で勉強したいという思いがよみがえり、その後、交換留学制度を知ったので申込みました。

留学する大学を決めた理由は？

美術教員になろうと考えており、ヨーロッパの芸術作品を実際に見たり、美術の授業を受けてみたいと思い、ヨーロッパ圏内にあるドイツの交換留学先を選びました。

留学前の語学スキルアップの方法は？

大学のドイツ語の授業とともにドイツ語検定を受けるための勉強をしました。

留学前の履修や教育実習のことなどに関してアドバイスがあればお願いします。

留学後の計画をしっかりと立て、指導教員の先生や教務課の方などと相談しながら、留学前に取る必要単位はできるだけ早めに取得しておいた方が良いと思います。

査証(滞在許可書・ビザ)の取得はどうしましたか？

ロイファーナ大学がまとめて申請してくれたので、写真や必要書類をまとめて大学のインターナショナルオフィスに提出しました。

ドイツの健康保険への加入や、親の経済負担誓約書など用意しました。

留学時に必要とされた予防接種の種類・回数・費用はどうでしたか？

特に何もしていません。

ですが、ドイツでは歯科治療、妊娠までをフォローできる健康保険に加入せねばならず、日本のものではそれが無いので、ドイツで入り直しました。大学の近くに保険会社があるので、学期のはじめなどに加入できるようです。

日本から持参するとよいと思われるものは？

特にありませんが、お土産として和風なキーホルダーなどの安いものを持って行っておけばいいかもしれません。

その他、日本を出発する前にしておいたらいいいことに関してアドバイスがあればお願いします。

私はネットでペンフレンドを作ってドイツ語の練習をしていました。

あと、Face book が連絡手段として活躍しました。

【留学中に関すること】

留学先で履修した科目とその履修方法は？ 1週間の平均授業時間数は？勉強についてのアドバイスがあれば一緒に記入してください。

週に5つ授業をとっていました。その他に2つ集中講義のようなものをとっていました。

科目：ドイツ語（週2）、インスタレーション、コミック&風刺画、芸術と写真、抽象画、具象人物画

留学生はあまりたくさん授業を入れすぎないようにと、ロイファーナ大学のインターナショナルオフィスの方に言われていました。実際、プレゼンテーションや、宿題が多く、授業数の割に忙しかったように感じます。

コンピュータ・インターネットの使用環境はどうでしたか？

Wi-fi が大学のどこでも使用でき便利でした。

留学中、どのようにして現地の学生と交流を深めましたか？

寮、授業、インターナショナルディナーで知り合ったりなど、きっかけは様々です。
留学生をサポートする学生の企画する飲み会などに行くこともいいきっかけだったと思います。

寮・下宿など住居についてどうでしたか？

WG というシェアハウスのようなところに住んでいました。大体の学生はこのような WG に住んでいます。わたしの WG には、ドイツ人の女性2人と男性2人が一緒に住んでいて、共同のキッチン1つとトイレが2つありました。1つのトイレはバスタブなしのシャワーと洗面台がありました。共同スペースでは掃除当番を決めていました。たまにみんなで一緒にご飯を食べたり、ボードゲームをしたりしました。私の住んでいた WG は学校に近く、学校の Wi-fi が使えたので便利でした。

食生活についてアドバイスがあればお願いします。

特にありません。コンビニがないので私は自炊を良くしました。
日本食も少し高いですが、ハンブルグに行けば手に入ります。

服装についてアドバイスがあればお願いします。

冬は寒く氷点下が続く時もありますので、暖かくする必要がありますが、日本と同じようなものは、なんでも売っていますので、足りないものはドイツで買えば十分だと思います。

習慣の違い、マナー、対人関係、犯罪などのトラブルで注意すべきことは？

ドイツはヨーロッパの中でも治安が良いようで、安全に生活することができました。

【留学を終えて】

今後の目標、将来の夢は何ですか？

ものづくりの楽しさをたくさんの子供に伝えられるような教師

これから留学を希望する学生へアドバイスをお願いします！

今留学を考えている人は是非、声に出してみてください。「わたしは留学する」と。未来の自分を変えられるのは、今の自分です。いろんな経験がきっとあなたの力になってくれます。



ISU のクラスメイトと先生と



スタートウィークの様子



オクトーバーフェスのリュネブルク